

「佐賀県立大学(仮称)整備設計委託」に係る質疑・回答書(技術提案書等に関すること)

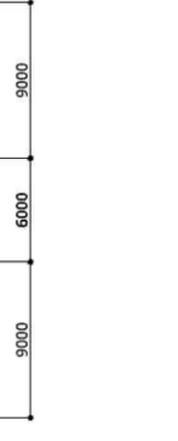
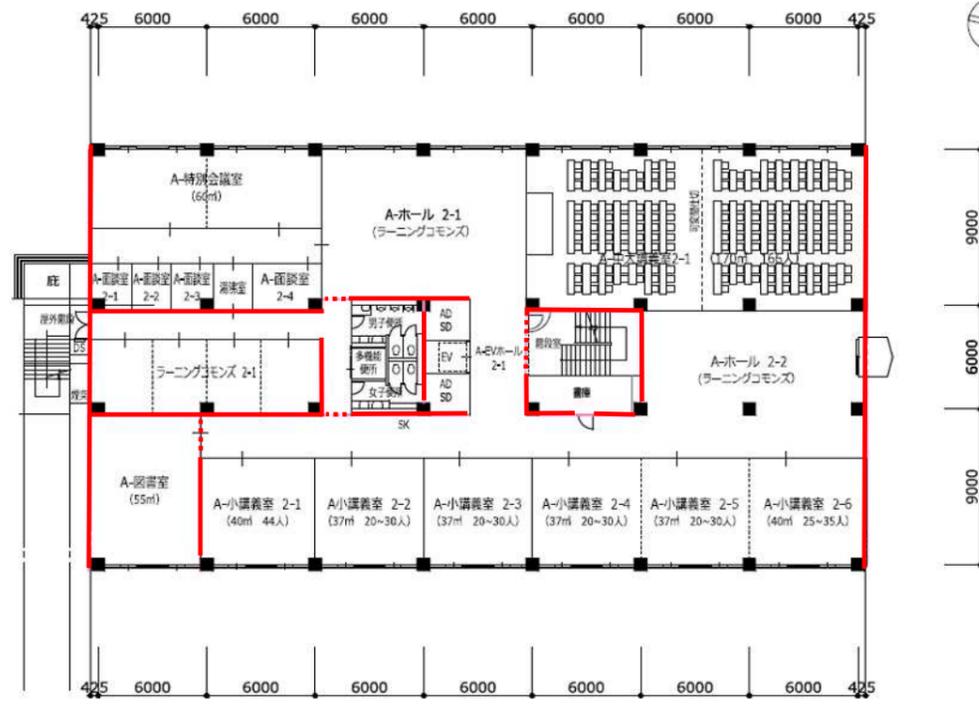
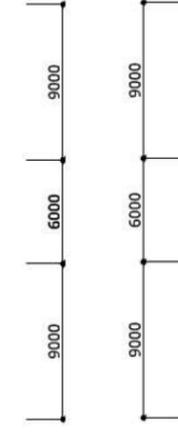
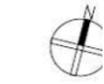
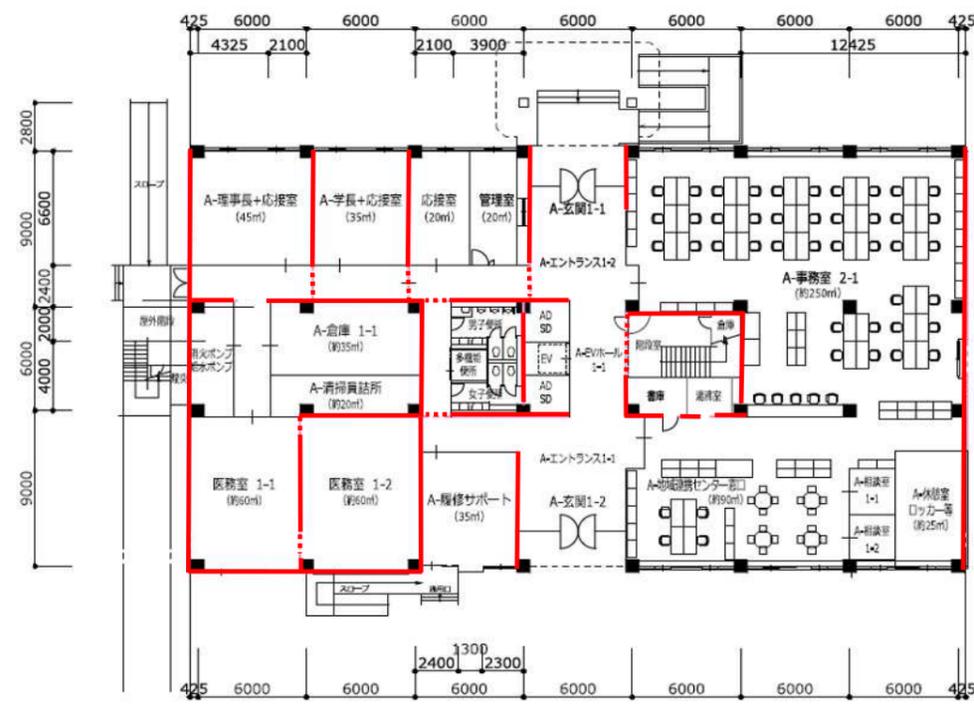
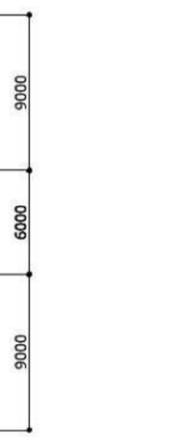
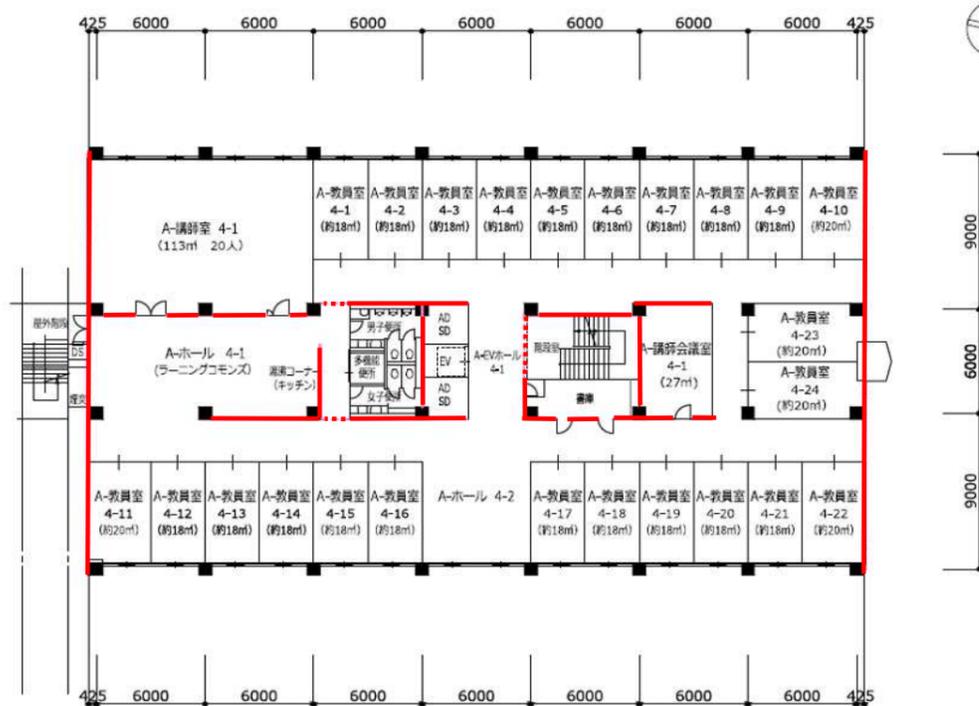
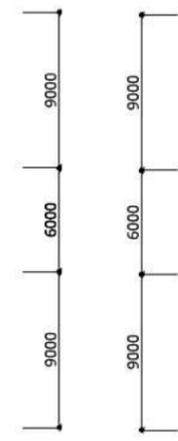
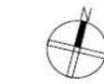
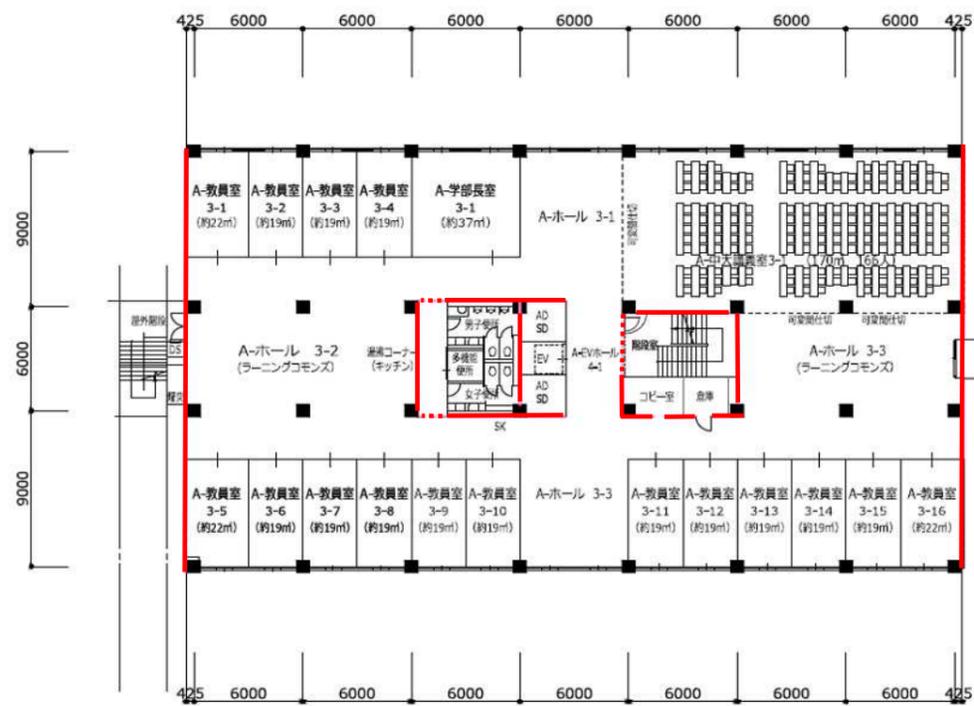
質 疑 事 項 及 び 要 旨	回 答
<p>1. 参加表明時に様式4に記載した業務実績と同じものを様式B、Cに記載する場合、内容確認の資料の添付は省略できると考えてよいでしょうか。あるいは再度添付するのでしょうか。</p> <p>2. 様式4で管理技術者と意匠主任技術者に同じ実績を記載した場合、様式Cで管理技術者に様式4で記載した実績を含めれば、意匠主任技術者の実績は様式4とは別の実績2件としてもよろしいでしょうか。</p> <p>3. 様式Cに記載する「評価指標」は、資格に基づく評価指標を記載すれば宜しいでしょうか。 もしくは、資格○+業務実績○、と各々の評価指標を記載すべきでしょうか。あるいは、双方の評価指標を合計した数値を記載すべきでしょうか。</p> <p>4. 様式Cに記載する「資格取得日から公告日までの年数」は、一級建築士もしくは設備士の資格取得日からの年数と考え、構造設計一級建築士・設備設計一級建築士の資格取得日から公告日までの年数は記載しないと考えるべきでしょうか。</p> <p>5. 構造設計一級建築士や設備設計一級建築士を配置する場合、様式Cの資格係数及び評価指標の欄はどのように記載すればよいでしょうか。</p>	<p>1. 参加表明時に様式4に記載した業務実績と同じ実績を様式B、Cに記載する場合でも、添付資料は再度添付してください。</p> <p>2. 管理技術者及び意匠担当主任技術者について、様式Cに記載する実績は、必ずしも様式4に記載した実績である必要はありません。</p> <p>3. 様式Cに記載する「評価指標」は、公募型プロポーザル実施要領P11に記載のとおり、資格係数×資格取得後の年数により算出された数値を記載してください。 なお、構造設計一級建築士又は設備設計一級建築士の場合は、記載不要(空欄のまま)です。</p> <p>4. 貴見のとおりです。</p> <p>5. 記載不要(空欄のまま)です。</p>

質 疑 事 項 及 び 要 旨	回 答
<p>6. 様式Dに記載するCPD取得単位について、「建築CPD 実績証明書発行申請の手引き」に拠りますと、CPD情報提供制度の標準様式は様式3-3であるため、「提出先より特に様式の指定がない場合は、様式3-3をご利用下さい」とされておりますので、様式3-3に基づく「認定時間」を記載するものと考えますが、宜しいでしょうか。あるいは、様式3-1に基づく「取得単位」を記載すべきでしょうか。</p>	<p>6. 取得単位が記載された様式3-1による実績証明書を提出してください。また、各都道府県の建築士会による証明書等、他の証明書を添付する場合には、取得単位が記載されたものとしてください。</p>
<p>7. 様式H参考見積書は押印不要と考えてよいでしょうか。</p>	<p>7. 貴見のとおりです。</p>
<p>8. 様式Hに添付する内訳書は、自由書式で宜しいでしょうか。明記が必要な項目、峻別すべき項目等がございましたら、必要に応じてご指示願います。</p>	<p>8. 内訳書の様式は自由ですが、基本設計、実施設計及び各追加業務の内訳がわかるものとしてください。</p>
<p>9. 設計業務の中に家具は含まれるのでしょうか。</p>	<p>9. 設計業務の中に家具は含みません。</p>
<p>10. 特記仕様書(案)第2 業務仕様 2 設計業務の内容及び範囲(1)基本設計,(2)実施設計に「昇降機等設備」が謳われておりますが、新築建物のみならず、既存建物の昇降機のリニューアルも含むと考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>10. 既存建物の昇降機については、リニューアルを想定していますが、詳細については設計の中で決めていくこととなります。</p>
<p>11. 特記仕様書(案)第2 業務仕様 2 設計業務の内容及び範囲(3)追加業務に関して、改修設計に必要となるアスベスト調査結果、また外構等に係る土壌汚染調査結果は、設計開始後速やかに貸与いただけると考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>11. これまでに県が実施したアスベスト調査結果については、受託者決定後に提供します。なお、設計段階において、新たにアスベスト分析が必要な建材があった場合は、受託者と協議することとします。土壌汚染調査については、令和7年度に別途、実施する予定です。</p>

質 疑 事 項 及 び 要 旨	回 答
<p>12. オ:透視図作成は、種類・アングル数は規定されていますが、サイズはA3判、額装なしと考えて宜しいでしょうか。 また、基本設計段階の一般業務における「設計内容説明資料」として「簡易な透視図」、実施設計段階の一般業務における「設計内容説明資料」として「簡易な透視図」と記載がありますが、スケッチパース程度と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>12. 貴見のとおりです。</p>
<p>13. カ:模型製作は、基本設計段階での成果物として規定されていますが、体裁は、敷地(キャンパス)全体および周辺を含め、1/200程度(幅1m×奥行60cm程度)、紙製・無着色・台座付き化粧アクリルケース入り、と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>13. 模型の仕様については、現時点で決定していないため、最も適した者と特定された技術提案書提出者と協議することを予定しています。なお、公募型プロポーザル実施要領P2. 1(4)業務量の目安においては、模型製作に技師C 240業務人・時間数を見込んでいます。</p>
<p>14. 【佐賀県立大学(仮称)整備設計委託 特記仕様書(案)】 p.2 CASBEE評価について 設計段階における認証取得までが業務に含まれるのでしょうか？若しくはCASBEE評価書類を評価書式に基づいて作成し、自己評価値を算出するところまでを業務に含むのでしょうか？</p>	<p>14. CASBEE評価については、第三者機関による評価認証の取得まで必要です。なお、認証に要する手数料については、公募型プロポーザル実施要領1(4)業務量の目安には含んでいません。(手数料については別途、県が支出します。)</p> <p>15.</p>
<p>15. CASBEE評価は、新築建物についてCASBEE-建築(新築)を用いて自己評価までとし、第三者機関による評価認証の取得は行わないと考えて宜しいでしょうか。</p>	
<p>16. 【佐賀県立大学(仮称)整備設計委託 特記仕様書(案)】 p.2 電波障害発生検討について 机上検討と考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>16. 電波障害発生検討については、机上検討です。</p> <p>17.</p>
<p>17. 電波障害発生検討は、机上検討で宜しいでしょうか。電波強度を実測し検討する場合は、詳細仕様をお示しください。</p>	

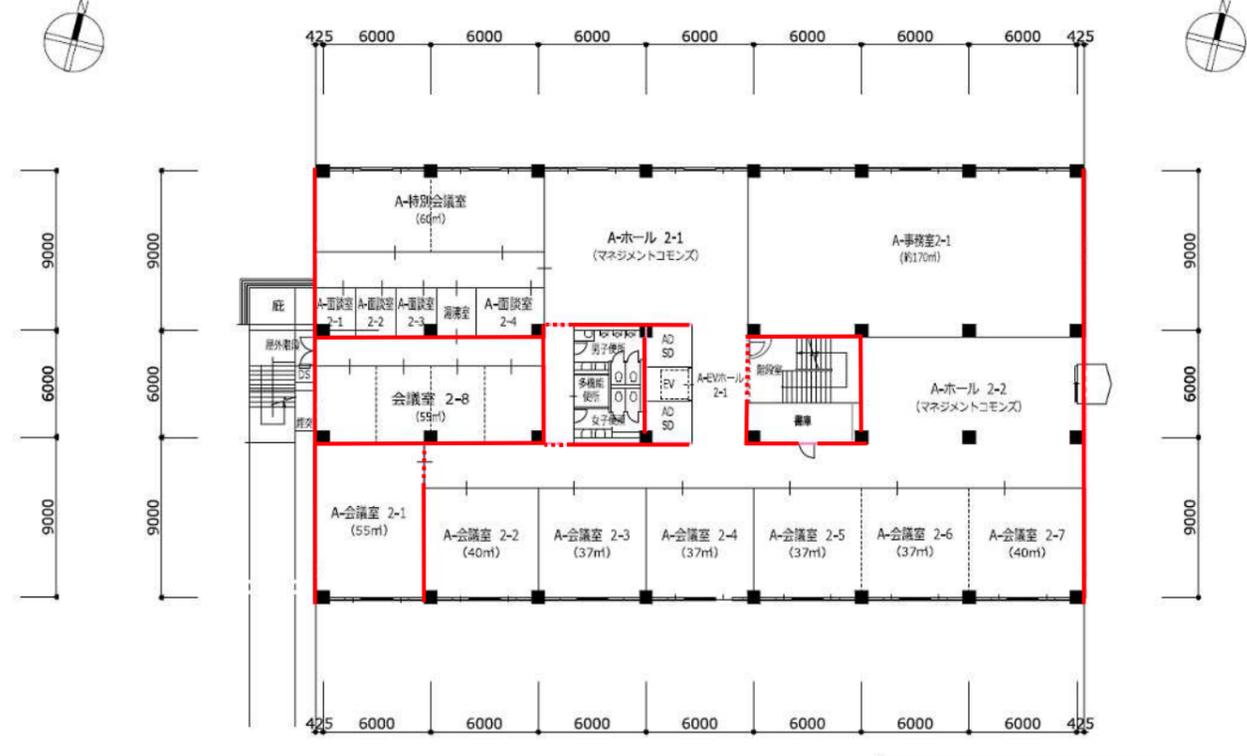
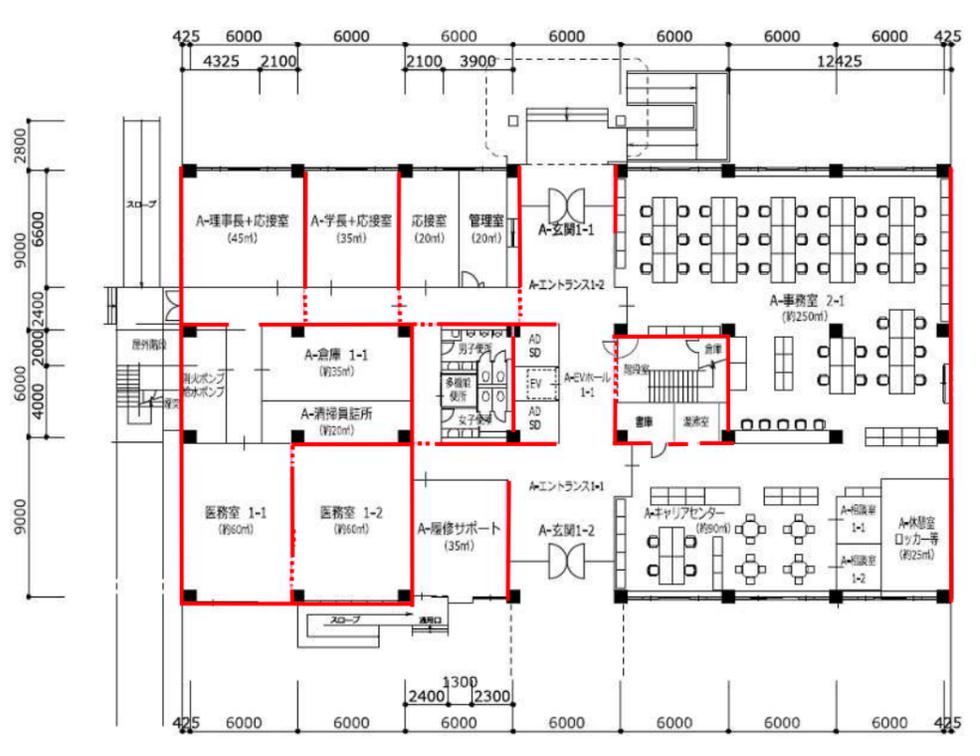
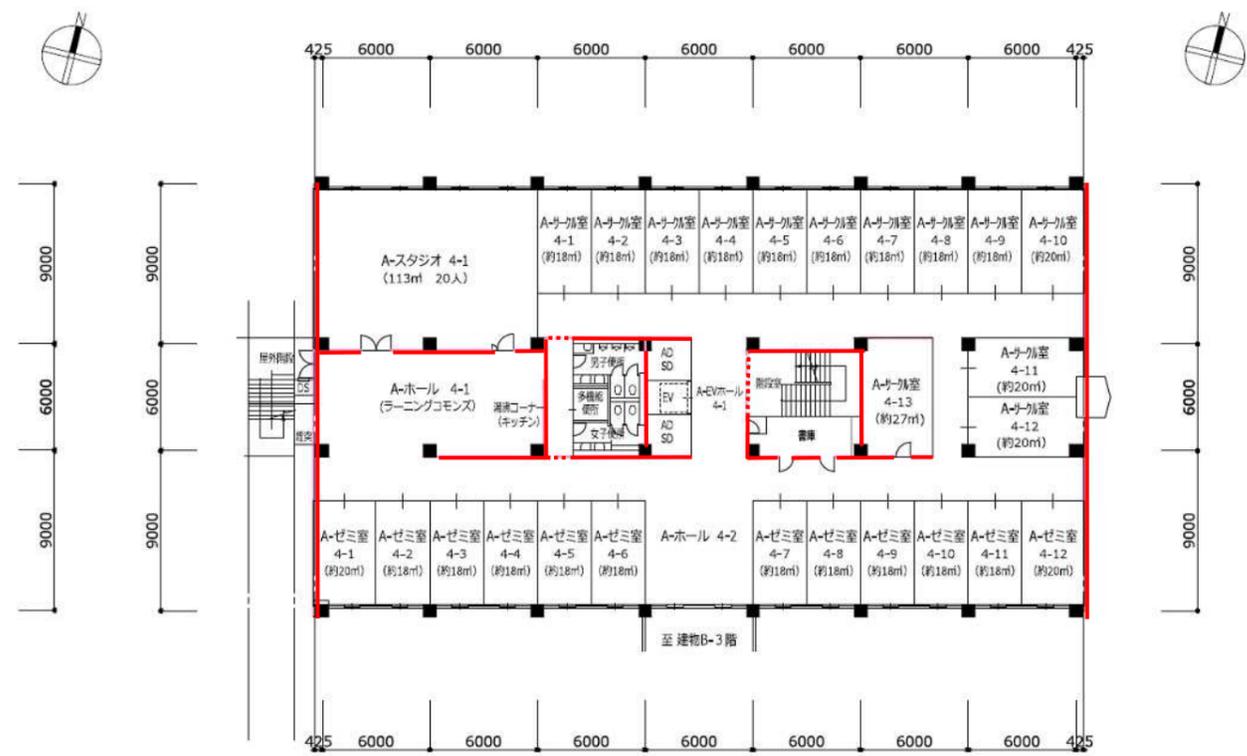
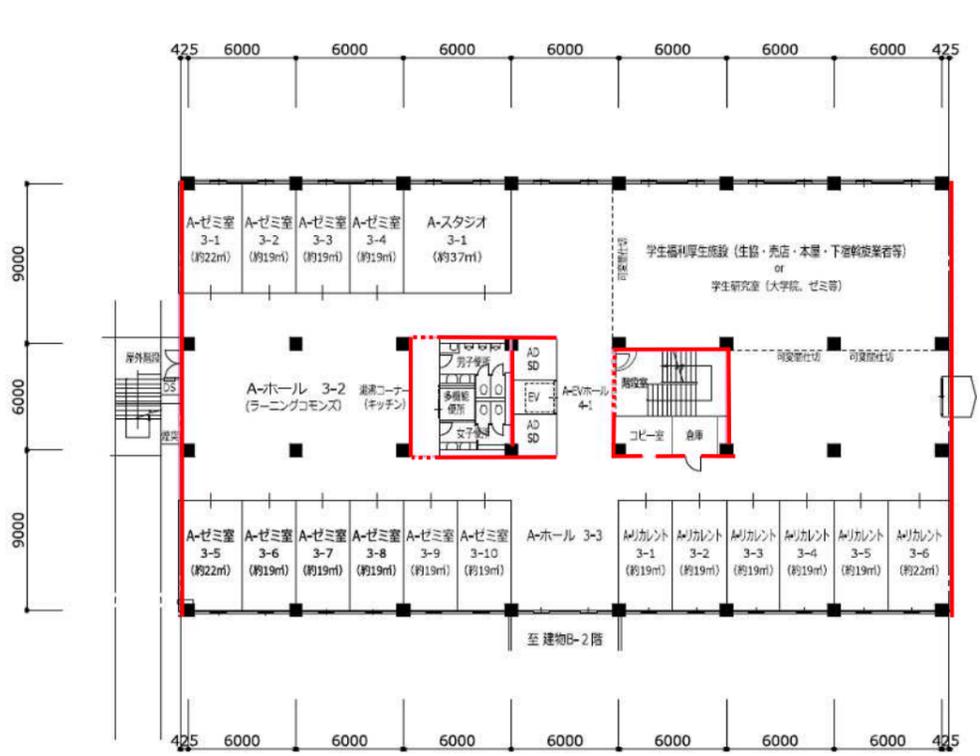
質 疑 事 項 及 び 要 旨	回 答
18. 別紙1 地質調査 特記仕様書にて、軟弱地盤技術解析一式とありますが、解析項目の詳細をご教示頂けますでしょうか。	18. 現況地盤解析 地盤液状化(簡便法)を想定しています。なお、地質調査の業務内容については、最も適した者と特定された技術提案書提出者と協議することを予定しています
19. 別紙2 測量業務 特記仕様書 第15条1項に記載の「契約書第6条1項」が示す契約書は、設計業務委託契約書のことでしょうか。	19. 建築設計業務委託契約書を指していますが、契約書第6条1項は誤りで、第11条1項が正です。なお、測量業務については、最も適した者と特定された技術提案書提出者と特記仕様書(第15条 再委託等)について協議することを予定しています。(契約書の条項を修正した特記仕様書を再掲します)
20. 別紙2 測量業務において、真北測定は不要(世界測地系座標から計算にて算出)と考えて宜しいでしょうか。	20. 貴見のとおりです。
21. 別紙2 測量業務において、日影図の複合日影を作成するため、既存建物の各部高さを実測するものと考えて宜しいでしょうか。	21. 測量業務において、既存建物の各部高さを実測することは考えていませんが、既存資料で既存建物の高さが把握できない場合には、受託者と別途協議することとします。
22. 別紙3 耐震診断・補強計画に関して、 ・平成27年度に行われた耐震改修で耐震性能判定委員会の判定は受けているでしょうか。 ・平成27年度に行われた耐震改修での耐震診断結果の概要を開示することは可能でしょうか。 ・別紙3の耐震診断・補強計画の業務は、国土交通省告示第670号の耐震診断および耐震改修に係る標準業務の全般および耐震性能判定委員会の評価取得と考えてよいでしょうか。	22. ・平成26年度に耐震診断および耐震補強計画について、佐賀県建築物耐震性能判定特別委員会から判定を受け、平成27年度に耐震改修工事を実施しています。 ・耐震診断結果については、概要も含め、受託者に提示する予定です。 ・別紙3の耐震診断・補強計画の業務については、貴見のとおりです。
23. 地域連携センターの機能をお示し頂けないでしょうか。	23. 主に、「施設機能の考え方」2(3)にある「産学官連携の窓口」をイメージしています。 具体的には、 ・県内の企業・自治体からの相談窓口 ・県内の企業・自治体同士の交流拠点(打合せスペース)の機能を含みます。
24. 敷地周辺で通学路整備の想定があれば、ルートや整備概要等についてお示し頂けないでしょうか。	24. 現時点で通学路の想定はありません。
25. 外来者の立ち入りを制限する等、セキュリティを確保しなければならない室があれば、室用途や時間帯、必要な制限方法等をお示し頂けないでしょうか。	25. セキュリティについては現時点で未定です。

質 疑 事 項 及 び 要 旨	回 答
<p>26. 『施設機能の考え方』p.10および p.12のイメージ平面図においてピンクの線で示されている耐震壁とは、これから補強を加えて耐震壁とするのではなく、既に存在しているRC壁のうち耐震壁として評価されているものと考えてよいでしょうか。 また黒線と重なって判別しにくい箇所があるため、ピンクの線を強調した図面をお示し頂けないでしょうか。</p>	<p>26. 『施設機能の考え方』p.10および p.12のイメージ平面図にピンクの線で示している耐震壁は、既に存在しているRC壁のうち、平成26年度に実施した耐震診断において、耐震壁として評価されているものです。 耐震壁の位置(ピンクの線)をわかりやすく明示したものを質疑・回答書の最終ページに添付します。</p>
<p>27. 『施設機能の考え方』p.12既存建物の2年目以降のイメージ平面図について 図中に記載されている下記の室について、想定されている使い方をお示し頂けないでしょうか。 ・マネジメントコモンズ ・特別会議室 ・ゼミ室 ・スタジオ</p>	<p>27. 開学2年目以降、既存建物に想定している室等については、「施設機能の考え方(補足資料)」P11の表中に記載しているものです。P12に明示しているものはイメージ平面図であり、具体的に必要諸室をプランニングしたものではありません。</p>
<p>28. 参考資料「18 施設機能の考え方(補足資料)(資料5)」に記載されている新校舎の必要諸室について、管理諸室が5,600㎡とございますが、記載以外に想定している諸室はございますでしょうか。</p>	<p>28. 参考資料「18 施設機能の考え方(補足資料)(資料5)」に記載している必要諸室以外については、設計段階で検討していきたいと考えています。</p>
<p>29. ヒアリングにおいて、提案説明の時間と質疑応答の時間はそれぞれ何分程度を予定されているでしょうか。</p>	<p>29. 提案説明(プレゼンテーション)は20分間、質疑応答は15分間を予定していますが、詳細は一次審査後にヒアリングへの出席を要請する提案者の方にお知らせします。</p>
<p>30. 現状想定している工事費をご教授頂けますでしょうか。</p>	<p>30. 現時点でお示しできるものではありませんが、今後、設計スケジュール等</p>
<p>31. 想定されている工事費をお示し頂けないでしょうか。</p>	<p>31. を検討する際に、工事費の規模やそれをお示しする時期などについても検討していきたいと考えています。</p>



凡例
 耐震壁を示す (破線は開口部のある耐震壁)

イメージ図(1年目)
 A3:NON SCALE



凡例
 耐震壁を示す (破線は開口部のある耐震壁)

イメージ図 (2年目以降)
 A3:NON SCALE